



# 週刊みつき

Vol.001

平成27年9月22日 発行

発行者：大阪府議会議員 みつき浩明事務所

〒590-0103 大阪府堺市南区深阪南 170 藤原ビル 202  
電話：072-294-6845 Email：hiroakimitsugi@gmail.com

「週刊みつき」は大阪府議会議員みつき浩明が発行する、大阪府政への思いをお伝えするフリーペーパーです。

トピック

## 「大阪都構想」終わる！

「大阪都構想」住民投票確定結果

反対 705,585

賛成 694,844

(無効 5,640)

○当日有権者集 2,104,076

○投票者数 1,406,084

5月17日

II 住民投票で否決 II

大阪市を廃止して5つの特別区を設置するいわゆる大阪都構想は、**5月17日**に行われた住民投票の結果、**否決**といふ民意が示されました。

4月12日に行われた統一選において、この南区から再び大阪府議会へとお送りいたしました。南区の皆様からいただいた思いをシッカリと受け止めて、これからも活動してまいります。

## 南区のため、堺のため、大阪のため



二期目の挑戦

当初「大阪都構想」とは、大阪府と大阪市の間に存在する二重行政のムダを解消すれば毎年4千億円の財源が生み出される。それを成長・発展のために使つて大阪を元気にしていくこう！という構想でした。大阪府・市の職員百名体制で**2年以上かけて**総点検しましたが、二重行政のムダ解消で生み出される財源はほとんど無く、逆に5つの特別区役所をつくるなどの初期費用に**6百億円以上の借金が必要**で、職員も新たに**2百名以上雇用**しなければならないことが明らかになりました。

結果的に、大阪都構想は単に大阪市を廃止・分割するだけの、当初の構想とはまったく違うものとなってしまったのです。

37億円

II 膨大な経費と時間を消費 II

膨大な経費と時間を消費してしまった一方で、私自身、多くの気づきもありました。

ノーサイド

なんと！この構想にこれまでに要した経費（人件費、出直し市長選、住民投票など）は、少なくとも**37億円**にも上ります。

II 対立から協調へ II

膨大な経費と時間を消費してしまった一方で、私自身、多くの気づきもありました。**大阪府民のため**というブレンない旗をシカリ立て、与えられた4年の任期中、その気づき一つひとつについて真摯に熱く議論し、謙虚に協調することをやり続けければ、泉北高速鉄道の時のように、必ずや皆様にご理解いただける結果を導きだすことができると信じて活動して参ります。

南区の皆様にも駅立ちなどで、隨時ご報告して参りますので気軽にお声をかけてくださいね！

## 信念と覚悟をもつて

初挑戦の4年前、私は**「泉北高速鉄道」**の料金を必ず値下げします！とお約束して、大阪府議会へとお送りいただきました。その時の約束を守るべく、「泉北高速鉄道」の株式をたった10円の値下げでアメリアの投資ファンドへ売却する議案には正々堂々と反対票を投じ、議案は53対51の僅差で否決。その後、株式は南海電鉄に売却され、**念願の料金値下げ80円の実現へ**とつながりました。



じています。今後も、南区にお住まいの皆様お一人おひとりのため、信念と覚悟をもつて活動することによって、政治に対する皆様の信頼を取り戻し、昨今の「政治家＝人気取り」「選挙＝人気投票」の様な仕組みも変えていきたいと思っています。

### みつき浩明 (ひろあき) のプロフィール

選挙区	堺市南区 (大阪府議会議員)
会派	自由民主党
当選回数	2回
所属委員会	都市住宅常任委員会 決算審査特別委員会 総務常任委員会 副委員長
経歴	昭和45年1月生 大阪府立高津高等学校卒 元八尾市役所職員 大阪府軟式野球連盟公認審判員 妻・子ども5人・犬2匹 野球・グラウンドゴルフ 芸術鑑賞・将棋ほか
家族	
趣味	



# 「大阪会議」はじまる！

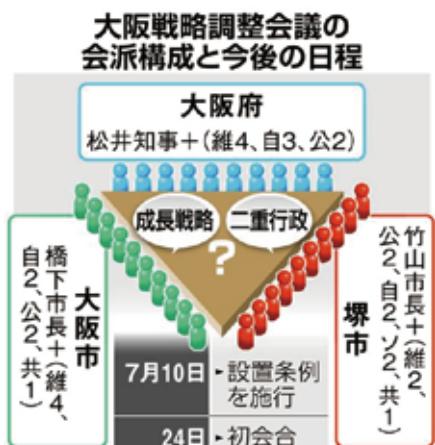
大阪府・大阪市・堺市からそれぞれ10名の計30名で、これから大阪の成長・発展の方向性を協議する「大阪会議」の設置条例（大阪戦略調整会議の設置に関する条例）が可決・成立しました。

住民投票で役所の仕組みを変えることにNO！という判断が示された以上、最終的には考え方の違いを乗り越えてキッチリ話し合い解决していくことこそ、いま改めて選挙で選ばれた私たち議員に求められているものなのだと思います。



大阪府議会の代表として、私も「大阪会議」のメンバーに選ばれました！

「大阪のためかどうか、大阪府民の皆様のためかどうか」という基準で発言し、行動する自身の信条に基づき、大阪・堺の発展のため、謙虚な姿勢で真摯に議論して参ります。



出典：産経WEST (2015.7.24)

そんな中、8月13日に強引に開かれようとした第2回会議は、出席者数が足りずに入会。会議の流れを受けて「大阪ポンコツ会議」との批判があるようですが、「ポンコツ」の正体とは一体なにか？大阪会議なんか？会議を欠席した自民党なのか？それとも維新の会なのでしょうか？私は「何も進まない」現状こそが「ポンコツ」であり、言うならば「大阪ポンコツ会議」ではなく「大阪ポンコツ状態会議」なんだと思います。つまり、**私は含むメンバーアー30人全員が「ポンコツ」**なのです。

この「ポンコツ状態」から抜け出すために「大阪府民のためにどうあるべきか？」という視点で会議の基本的な最低限のルールづくりを会長（維新府議）にお願いしま

## 「大阪ポンコツ会議」??

私は、「さあ～これから大阪の成長・発展のため、実りある会議にしよう！」という思いで参加していただけに、混乱しただけの第1回会議は残念で残念で仕方ありませんでした。

7月24日に「大阪会議」の初会合が開催されました。しかし、大阪会議が都構想の対案かどうかで冒頭から会議は紛糾。それだけで約2時間、その日の会議は何も決まりませんでした。

## 第1回会議は冒頭から紛糾、何も決まりず

私は、この大阪会議で、大阪・堺の成長のためには何をすべきか、東京に移つてしまつた企業の本社機能を再び大阪へ取り戻すにはどうすべきか、もつと多くの観光客に訪れていただくにはどうすればよいか、地下鉄などの鉄道ネットワークはどうあるべきか、二重行政のムダは実際どれだけあって、解消したら効果額はいくらなのかなど、大阪府と大阪市だけでなく堺市も含めて一から検証すべきだと考えています。大阪会議の協議事項に「二重行政の解消」が規定されているにもかかわらず、都構想の対案はどうかにこだわることに、果たしてどれだけの意味がありますか？

政治家同士の争いなんかどうでも工事が規定されているにもかかわらず、都構想の対案はどうかにこだわることに、果たしてどれだけの意味がありますか？

この「大阪会議」が大阪のけん引役としてシッカリ機能している姿を想像し、その想像が現実のものとなるようこれからも謙虚な姿勢で大阪会議に臨みたいと思います。

20年後も「大阪会議」で大阪が元気に・・・私は、この大阪会議で、大阪・堺の成長のためには何をすべきか、東京に移つてしまつた企業の本社機能を再び大阪へ取り戻すにはどうすべきか、もつと多くの観光客に訪れていただくにはどうすればよいか、地下鉄などの鉄道ネットワークはどうあるべきか、二重行政のムダは実際どれだけあって、解消したら効果額はいくらなのかなど、大阪府と大阪市だけでなく堺市も含めて一から検証すべきだと考えています。大阪会議の協議事項に「二重行政の解消」が規定されているにもかかわらず、都構想の対案はどうかにこだわることに、果たしてどれだけの意味がありますか？

## 大阪府議会議員 みづぎ浩明事務所

〒590-0103 堺市南区深阪南 170 藤原ビル 202

電話 : 072-294-6845 FAX : 072-294-6846

Email: hiroakimitsugi@gmail.com



お車でお越しの場合：  
田園大橋西詰から約700m

電車でお越しの場合：  
泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅より徒歩15分（約1.2km）  
または泉ヶ丘駅から南海バス「野田尾」停留所下車、徒歩5分（約450m）